

トヨタ産業技術記念館見学まとめ

見学先 トヨタ産業技術記念館

日時 2016年10月28日 13:30～15:00

スケジュール

- 1) トヨタ産業技術記念館 総務部グループマネージャー 加藤 隆弘氏による館内説明
- 2) ビデオによる館内説明
- 3) 館内の見学 (一部ガイドツアー、実演有)

・記念館について

旧豊田紡織株式会社本社工場跡を産業遺産として保存し、建築学的にも貴重な赤レンガの建物を利用して(1)近代日本の基幹産業の一つである繊維産業(2)現代日本の主要産業である自動車産業の変遷を展示紹介している。

(1) 繊維産業 (繊維記念館)

「紡ぐ・織る」技術の基本とその歴史の展示

① 綿から糸を作る糸紡ぎ②豊田式木製人力織機③G型自動織機の実演

糸紡ぎの原理、織機の生産性を向上させるため手動から自動化に至るまでの歴史及び各工程での工夫の展示により、記念館の理念である技術者の「研究と創造の精神」を感じることができる。

(2) 自動車産業 (自動車館)

① 金属加工コーナー (実演) ②自動車事業創造、自動車開発の遷移③自動車生産技術の変遷 (ガイドツアー) ④自動車の仕組みと構成⑤代表車種のプロムナード等

① 鋳造、鍛造、切削加工及び評価試験機器の解説

鋳造工程の実演：実際の自動車部品の製造。鋼材を電気炉で熱して液体にし、型に流し込み、冷やし実際の製品の製造を行った。

金属加工の歴史の説明：金属をハンマー等でたたくことによる自由鍛造から鍛造用金型を用いた型鍛造までの変遷について実物を用い説明していただいた。

② 創造の精神、創業期の技術者のエピソード、当時のエンジン試作の様子を展示

③ 館内スタッフによるガイドツアー、1960年国内で初めて稼働した600トンプレス機の実演をしていただき、自動車産業における生産技術の発展を説明していただいた。

日本の主要産業である自動車産業の変遷を通じ、ものづくりの精神、創造の精神を感じることができる見学であった。